

平成23年11月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 川 口 雅 丈

市 民 ク ラ ブ 相 場 金 二

希 望 芦 田 晃 敏

共 産 党 鈴 木 知

公 明 党 松 田 豊 臣

フ ォ ー ラ ム 2 1 佐 原 孝 夫

市 民 の み か た 佐 藤 哲 治

秋 水 会 佐 藤 宏 悦

秋 水 会 齊 藤 善 悦

1 市長の政治姿勢について

(1) 健全な財政運営に対する基本的な考え方について

(2) 歳入について

ア 平成23年度及び平成24年度の市税の見通しについて

イ 平成24年度における財政調整基金及び減債基金の活用について

ウ 歳入確保に向けた取り組みについて

(3) 歳出について

ア 人件費の状況及び今後の推移について

イ 決算において多額の不用額を出す事業については、予算措置を慎重にすべきでないか

ウ 歳出決算の分析を十分に行うべきではないか

2 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について

(1) イニシャルコストが当初の見込みよりふえた要因について

(2) ランニングコストがふえる可能性はあるのか

(3) 4年制大学化によって経済波及効果はどのくらいになるのか

(4) 今後のスケジュールについて

(5) 大学を中心とした新屋地区のまちづくりをどのように進めていくのか

3 環境政策について

(1) 家庭系ごみの有料化について

ア 町内会長への意向調査の状況について

イ 今後開催される説明会の内容について

ウ 説明会への参加を市民へ積極的に呼びかけるべきではないか

(2) 災害廃棄物の受け入れについて

ア 現状と課題について

イ 受け入れに向けた今後の取り組みについて

ウ 放射能が検出されない災害廃棄物については、早期に受け入れを開始すべきと考えるがどうか

4 新庁舎建設について

(1) 市内経済活性化のために、建設工事は地元業者への元請発注とすべきではないか

5 観光政策について

(1) 観光客の獲得に向けて、今後、どのように取り組んでいくのか

(2) 大規模なコンベンションの誘致に積極的に取り組むべきではないか

(3) 大森山動物園について

ア 入園料の改定とあわせ、サービスの向上を図るとしているが、具体的な内容はどうか

イ ジャイアントパンダの誘致実現の可能性について

6 スポーツ行政について

(1) 小学生のスポーツ環境について

ア 現状をどう認識しているのか

イ 希望する種目のスポーツができるような環境を整備すべきではないか

(2) 八橋第二球技場及び勝平市民グラウンドの全天候型の人工芝化について

(3) 陸上の国際大会やＪリーグ等が開催できるよう八橋陸上競技場の改修、拡張を検討すべきではないか

7 地域の諸課題について

(1) 明田地下道西交差点の歩道の確保について

(2) 移転する中通児童館へのアクセスの利便性の向上について

1 市長の政治姿勢について

- (1) 大阪都構想を掲げ圧勝した大阪維新の会に寄せられた民意をどう評価するのか
- (2) 本市の政策形成のプロセスと市民合意の形成について
 - ア 家庭系ごみ有料化と秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化は、市民理解と合意が得られていると認識しているのか
 - イ 重要な政策形成に、市民の声や庁議の意思が反映されていると認識しているのか
- (3) 県都『あきた』成長プランでは、市長の巻頭言で「こでらえねえまち」を標榜しているが、本県が「幸福度全国37位」と評価されたこととの乖離をどう思っているのか
- (4) 秋田を元気にしたいという市長の信念と情熱を傾注した行政展開への評価と思われる、市長のステップアップ待望論に対する心境について

2 財政について

- (1) 平成24年度予算編成の概要について
 - ア 歳入見込みの平成24年度と平成23年度との比較について
 - イ 平成23年度末基金残高及び平成24年度の基金取り崩し予定額と市債発行予定額は財政規律の範囲内なのか
 - ウ 市有財産等の活用による財源確保の見込みはどうか
- (2) 歳出について
 - ア 平成23年度の予算規模と主要な施策は継続するものとの理解でよいのか
 - イ 平成24年度施策の目玉となるのは何か

3 福祉について

- (1) 高齢者福祉について

ア 要介護者数と施設入所者数及び入所待機者数の現状について

イ 在宅介護の現状をどのように認識し、その改善を図るため、介護する家族に対する支援などにどう取り組んでいるのか

ウ 特別養護老人ホーム及びショートステイなどの介護保険事業所について、監督・指導は適切に行われているのか

エ 介護予防の取り組みの現状はどうか

(2) 秋田市障害者プランの推進について

ア 障がい児及び障がい者と市民との交流や共助の取り組みはどうか

4 エイジフレンドリーシティ構想とその推進について

(1) エイジフレンドリーシティグローバルネットワークへの加盟について

ア 加盟の意義と今後の展開について

イ 本市の加盟が国内初であった理由をどう認識しているのか、また、他都市の動向はどうか

(2) エイジフレンドリーシティ構想と秋田市高齢者プランとの関連性について、わかりやすく啓発すべきではないか

5 安全・安心について

(1) 東日本大震災を機に、国が防災基本計画の避難基準等を見直すと見られているが、（仮称）秋田市防災・防犯基本条例とのかかわりはどうか

(2) 東日本大震災を教訓に、災害発生時における消防団員の活動範囲を定めるべきとの提言があるが、どのように対応していくのか

(3) 水害に備えた中小河川の適切な管理について

ア 古川、猿田川及び太平川は、周辺開発に伴い自然流下に限界があると考えるが、市民の安全上、ポンプによる排水を行うべきではないか

(4) 除排雪に当たっては、近隣の農地所有者と協定を締結し、当該農地を豪雪時の緊急堆雪場として確保すべきと思うがどうか

- (5) 冬期の人にやさしい歩道づくりとして実施している歩道融雪システムは、交差する歩車道を含めた形で速やかに整備すべきと思うがどうか

6 中心市街地の活性化について

(1) 中通一丁目地区市街地再開発事業について

ア 商業施設について、既存の大型小売店舗の売り上げ及び集客のシェアの現状をどのように見きわめ、集客・販売をどう計画しているのか

イ にぎわい交流館におけるにぎわいのメーンは何か、また、エリア内に類似施設が立地することは、相乗効果よりもマイナス効果が大きいのではないか

ウ 県議会における本再開発事業についての活発な議論の背景には、事業の成立性に係る費用便益比の整合性があったが、その評価に変化はないのか

(2) 中心市街地商業集積促進事業の成果について

(3) 中心市街地にぎわい創出事業の成果について

7 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について

(1) 4年制大学化は、伝統的芸術文化を生かしたまちづくりの中核になるとしているが、その具体的構想は何か、また、抽象的な感が否めないが、後顧に重大な憂いを残すことにならないのか

(2) 秋田商工会議所から、二度にわたり4年制大学化を推進してほしいとの要望があったが、どのような要望であったのか

(3) 4年制大学化とあわせ法人化するとしているが、その信憑性はどうか、また、県・市共有論についてはどうか

(4) 仮称を秋田公立美術大学としているが、より秋田らしい名称をつける考えはあるか

8 市民協働・都市内地域分権の推進及び南部地域の施設整備について

- (1) 南部地域における具体的な施設整備計画と地域分権の推進方法はどうか

9 県農業試験場跡地の利活用について

- (1) 県が提唱する地域活性化を支援する未来づくり構想に基づく事業として、グラウンドゴルフ場などの健康づくり施設を整備すべきと思うかどうか

10 教育について

- (1) 学校教育について

ア 教職員の事務負担軽減に取り組んでいるが、現状はどうか

イ 「総合的な学習の時間」の現状と保護者参加の促進について

- (2) 社会教育について

ア 親による家庭での読み聞かせについて

イ 日本人の誇りや高い矜持、また、倫理観の醸成のため、「論語塾」を推奨して、秋田人の人格形成を図るべきと思うかどうか

- (3) 2014年の国民文化祭開催に向けた本市の取り組みについて

ア 各分野において、今から多くの市民参加を促し芸術文化意識の高揚を図るべきと思うかどうか

イ 本市には多くの伝統的芸能が存在することから、国民文化祭を機に次世代への継承をさらに図っていくべきと思うかどうか

- (4) 本市には貴重な遺跡出土資料があるが、その保管・展示施設の整備を急ぐべきではないか

11 国際交流について

- (1) 隣国韓国の都市と友好姉妹都市提携を結び、積極的な交流を図り、経済、産業、文化、芸術の相互振興を目指すべきではないか

- (2) 韓国ドラマ「アイリス2」の秋田ロケがあるとされているが、実施予定及び具体的なスケジュールはどうか

12 農林業の振興策について

(1) 園芸作物生産振興事業の成果と課題はどうか

(2) 本市での6次産業化はどう展開されているのか

(3) 本市の個性をあらわしたネーミングによる米の販売戦略について

ア 市民が崇拝する霊山太平山の霊水をかんがい用水とし、風土を彩る梵天の御利益を奉じてできた米を「ジョヤサ米」としてブランド化し、販売戦略を図るのはどうか

(4) 農地・水・環境保全向上対策について

ア 農道や水路、水田の管理ができるよう関係機関等へ働きかけるべきではないか

(5) 耕作放棄地等の関係施設管理について

ア 耕作放棄地等の管理は、緊急雇用対策事業を活用し、関係機関と連携し継続的に適正な管理を図るよう取り組むべきと思うがどうか

一 般 質 問 希 望 芦 田 晃 敏

1 国と地方の役割分担と民の活用について

2 生活困窮者支援について

(1) 求職者支援制度に対する考え方について

(2) 生活保護について

ア 生活保護申請増への対応について

イ 自立支援について

ウ 今後の生活保護受給者数と予算について

エ 就労意欲をそがない給付水準とすべきと思うがどうか

3 T P P の交渉参加について

(1) 国論を二分する T P P の交渉参加に対する受けとめ方について

(2) 国への要望行為として、本市はどのような行動をとるのか

(3) T P P 参加は「第三の開国」となり得ると考えているのか

4 財政について

(1) 臨時一般財源の果たす役割について

(2) 予算編成をする際、財源不足を解消するのは臨時一般財源があるからなのか

(3) 臨時財政対策債の考え方について

(4) 本市の財政改革のデザインについて

(5) 一時借入金は過去にあったのか、また、借り入れる際の考え方はどうか

(6) 補助金について

ア 地方自治法第232条の2にある公益上必要な場合とは、何を指すのか

5 災害時の拠点施設としての学校施設の整備について

(1) 学校施設の安全性の確保について

ア 小中学校の耐震化率について

イ 非構造部材の耐震対策について

(2) 学校施設における防災機能について

ア 防災機能整備の進め方と考え方について

イ 防災機能は分散か集中かという課題についての見解はどうか

ウ 防災機能整備に係る国の財政措置の見込みについて

エ 学校と地域が一体となった、実践的防災訓練の実施を本格的に行うべきと思うがどうか

6 (仮称) 秋田市防災・防犯基本条例(案)について

(1) 自助、共助、公助の理想の比率はどうあるべきか

(2) 本条例は防災に絞るべきと思うがどうか

7 教育行政について

(1) 学校施設のバリアフリー化について

(2) 子供がつくる「弁当の日」について

8 水道事業について

(1) 本市の直結方式と貯水槽方式の割合について

(2) 直結方式の考え方について

(3) 市内の事業所を含めた直結方式の把握及び今後のあり方について

1 市長の政治姿勢について

- (1) 野田政権のＴＰＰ交渉参加について、市長として反対の態度を明確に示すべきではないか

2 「市民のいのちとくらしを守る」防災対策について

- (1) 国の防災基本計画が修正される予定であるが、その内容について早急に検討に入るべきではないか
- (2) 災害時の避難指示の伝達手段についてどう考えているのか
- (3) 津波被害対策として、浸水想定区域等での避難場所調査を進めているが、進捗状況はどうか、また、今後の課題をどうとらえているのか
- (4) 災害時における要援護者の福祉避難所の協定締結の進捗状況はどうか、また、今後の対策についてどう考えているのか

3 家庭系ごみの有料化及びごみの減量について

- (1) 平成24年7月の家庭系ごみの有料化実施を見送るとともに、減量施策の具体化を図り、市民協働のもとでごみ減量に取り組むべきではないか
- (2) 市民から強い意見のある、プラスチック類の分別回収に取り組むべきではないか
- (3) コンビニなど市民に身近なところの協力を得て、牛乳パックやトレーなどの回収を行うとともに、市民へ回収場所の情報提供をしてはどうか
- (4) まだ使用できる粗大ごみの展示・提供や市民参加型のイベントなどさまざまな啓発活動を行ってはどうか
- (5) 生ごみ処理の普及促進について
 - ア 市営住宅を初め、集合住宅や町内会などでモデル事業として生ごみ処理機の設置を行ってはどうか
 - イ ごみ減量目標達成のために、生ごみ処理機等の購入に対する補助

を大規模に行うべきではないか

ウ 町内会や職場、学校などさまざまな場所で堆肥づくり講座や技術指導などを行ってはどうか

4 子育て支援について

(1) 子供の医療費について

ア 中学校卒業まで医療費の無料化を進めようとしている秋田県の提案に対し本市としてどのように取り組もうとしているのか

イ 県の動向を待たず、対象年齢の拡充、所得制限や一部自己負担の解消を含めて検討し、計画を持って段階的に子供の医療費助成制度の拡充を進めるべきではないか

(2) 児童館の運営等について

ア 児童の利用時間の延長を早急に行うべきではないか

イ 児童厚生員の報酬等の待遇改善をすべきではないか

ウ 児童厚生員及び児童館補助員を増員するなど、体制の強化を図るべきではないか

5 放射能汚染から市民の健康を守る対策について

(1) 本市の現体制で、放射能に対する市民の不安にこたえられると考えているのか

(2) 本市が簡易測定器を購入し、中央卸売市場や学校給食センター等において測定する体制を確立すべきではないか

(3) 市民が消費する食品を簡便に測定できるように市民サービスセンター等に簡易測定器を設置すべきではないか

(4) 本市が測定した数値の公開を含め、放射能問題に関する情報提供をきめ細かく行うべきではないか

(5) 本市として気軽に相談したり、情報が得られる専門窓口を設置すべきではないか

6 買い物弱者対策について

- (1) 平成21年に行った「買い物環境に関するアンケート調査」の結果を受け、買い物弱者対策にどう取り組んでいくのか
- (2) 買い物弱者対策として、移動販売事業者の車両購入費やガソリン代等の経費に対する助成制度を創設すべきではないか
- (3) 商店会などを支援し、宅配サービスなど買い物弱者対策のモデル的な事業を進めてはどうか

7 被災地の瓦れき処理について

- (1) 受け入れの検討に向け、安全基準や技術的な課題等の情報を明らかにするよう国に早急に働きかけるべきではないか
- (2) 瓦れき受け入れ問題について、市民に対し、状況に応じた適切な情報提供を行うべきではないか

1 本市経済の活性化と雇用対策について

(1) 農商工連携による経済活性化について

ア 県都『あきた』成長プランの成長戦略「地域産業の競争力強化」
としての農商工連携の取り組み状況及び課題について

イ 成果を出す農商工連携に向けた今後の取り組みと具体的施策について

ウ 商品開発及び販路拡大も含めた地域ブランドづくりには、国が導入を検討している新登録制度の活用が有効と考えるがどうか

(2) 日本海側拠点港に選定された秋田港について

ア 物流拠点港としての具体的な取り組みと課題について

イ 将来においても物流拠点港としての役割を果たすために、港自体の強化はもちろん、交通インフラ等の整備にスピード感を持って取り組んでいくべきと考えるがどうか

(3) 企業誘致について

ア 本市におけるこれまでの企業誘致の現状と課題について

イ 今後の企業誘致の取り組み方針及びその具体策について

(4) 雇用対策について

ア ハローワーク秋田管内における10月末現在の有効求人倍率は0.66倍とやや改善してきているが、依然厳しい雇用環境における当面の具体策は何か

2 安全・安心対策について

(1) 危機管理について

ア 災害時に迅速な行政サービスが提供できるように、被災者支援システムの導入を検討すべきと考えるがどうか

イ 災害情報の発信機能確保のため、遠隔地自治体との連携による災害時ホームページ代理掲載を検討すべきと考えるがどうか

(2) 災害を想定した防災活動、防災教育及び訓練について

ア 地域や企業等における防災活動の実態及び今後の具体的な取り組みについて

イ 小中学生を対象とした防災教育及び防災訓練プログラムが必要と考えるかどうか

ウ 災害時の避難所機能を確保するため、避難所ごとの役割分担及び訓練が必要と考えるかどうか

(3) 小中学校の耐震化及び自家発電機の整備について

ア 小中学校の耐震補強工事は平成27年度までに完了する計画であるが、耐震補強に当たっては、建物自体のみならず天井材や外装材等の非構造部材の耐震化にも着手すべきと考えるかどうか

イ 災害時に避難施設としても機能する小中学校における自家発電機の整備状況及び今後の計画について

3 東日本大震災による災害廃棄物について

(1) 災害廃棄物の受け入れについて、本市としても積極的に対応すべきと考えるかどうか

4 聴覚障がい者支援について

(1) 18歳未満の聴覚障がい児の人工内耳用スピーチプロセッサ買い換えに対し助成すべきと考えるかどうか

(2) 要約筆記奉仕員等の養成について

ア 要約筆記奉仕員の増員及び技術力向上に向けた取り組みについて

イ 要約筆記者及び要約筆記者指導者の養成研修について、県とどのように連携し推進しているのか

(3) 災害時情報提供の手段として、聴覚障がい者専用の、携帯電話等へのメール配信システムを導入すべきと考えるかどうか

5 超高齢社会への対応について

(1) 高齢買い物弱者支援について

ア 高齢買い物弱者に対する本市の認識について

イ 買い物環境を改善する具体的な支援策について

ウ 高齢買い物弱者支援における県との連携について

(2) 高齢者コインバス事業等について

ア 高齢者コインバス事業の利用状況と現時点での評価について

イ 高齢者コインバス資格対象年齢の引き下げについて

ウ 高齢者がバスを利用しやすいよう、低床バスの導入に対して積極的に働きかけるべきではないか

(3) 市から高齢者に送付する情報提供等については、わかりやすい表記にするなど工夫すべきと考えるかどうか

6 地域の諸課題について

(1) 御所野地区への児童館の早期整備について

(2) 御所野地区の冬期間における安全な通学路の確保について

1 市政経営について

(1) 市長説明について

ア 市長説明要旨の作成者と文言に対する思い入れについて

(2) 救急救命について

ア 救命率が全国トップクラスという朗報を市のトップとして市民に発表すべきであったのではないか

イ 救命率など救急救命に係る詳細なデータを議会や市民に対して公表すべきと思うがどうか

ウ 救命率のさらなる向上に向けた取り組みはどうか

(3) 東日本大震災時の対応について

ア 歓送迎会等の自粛の指示の範囲はどうであったのか、また、自粛した会の後日開催については指示しなかったのか

イ 自粛後の本市の景気と地域経済に与えた影響をどう認識しているのか

(4) 被災地への協力について

ア これまでの職員派遣と物資の提供状況について

イ 派遣した職員の心のケアについて

ウ 予算や対応等の協議のため、臨時議会を招集すべきであったと思うがどうか

エ 震災時の対応に当たっては、当局と議会が真に車の両輪として機能しなければならないと思うが、認識はどうか

オ 被災地の瓦れきの受け入れについて

(ア) 本市の率直な考えについて

(イ) 市長みずから率先垂範し、直接現地に赴き状況を確認すべきと思うがどうか

(ウ) 溶融施設では対応できないのか

(5) 本市の経済状況と平成24年度当初予算等について

ア 円高、デフレ、株安等による本市財政への影響をどう認識し、ど

のような対応策を講じているのか

イ 平成24年度当初予算編成方針の概要と重点事項について

ウ 税外収入の確保策について

エ 市有地に駐車する職員等からの駐車料金の徴収について、現在の取り組み状況はどうなっているのか

(6) 専決処分等について

ア 議決を経た契約に係る専決処分に対する考え方について

イ 契約課職員には、契約事務全般に関する習熟度が求められると思うが、現状をどう認識しているのか

(7) 基地問題による沖縄の窮状を訴えた仲井眞沖縄県知事の発言に対する市長の見解はどうか

(8) 秋田公立美術工芸短期大学の4年制大学化について

ア 市民や議会に対して4年制大学化の効果を端的に表現するとすれば、どのような言葉になるのか

イ 今定例会に4年制大学化に係る予算が提出されているが、今後、かかり増しはないのか

ウ 4年制大学化に伴い、秋田公立美術工芸短期大学附属高等学院の位置づけと理念はどうなるのか

エ 附属高等学院の生徒及び保護者への説明の状況はどうか、また、理解は得られているのか

2 環境行政について

(1) 土壌汚染対策法の規定に基づく秋田市告示第216号について

ア 本告示を1日違いの号外として発行しなければならなかった理由について

イ 号外発行の最終判断はだれが行ったのか、また、特別な理由や外部からの要請等があったのか

ウ 本告示に係る土壌汚染対策法の規定について

エ 砒素及びその化合物がもたらす影響について

オ 周辺住民等への周知について

(2) 家庭系ごみの有料化について

- ア 有料化に関する議案は議決されたが、市民理解は得られていると考えているのか
- イ 市民の反応によっては、条例の執行停止や延期を検討すべきと思うかどうか
- ウ 環境部として、市民生活及び景気の状況をどうとらえているのか
- エ ごみ集積所に市職員を配置し排出指導に当たるとのことであるが、詳細はどうか
- オ 不法投棄の増加が予想されるが、どのようにとらえているのか
- カ 不法投棄を発見した際は、関係機関に情報を提供するとともに告発も検討すべきと思うかどうか

3 教育行政について

(1) 教育関連予算について

- ア 教育関連予算の推移と配分方法について
- イ 楽器等の教材費及び図書費の推移について
- ウ 教職員が使用するパソコンの設置状況及び今後の設置計画はどうか、また、公物及び私物の内訳はどのようになっているのか
- エ 本来学校が負担すべき費用を保護者等に負担させている事例はないか

(2) 教育行政の諸課題について

- ア 学校教育現場の現状と当面の課題について
- イ 小中学校における本県の学力は全国トップクラスであるが、本市が水を差すような状況になっていないか
- ウ 教育委員会所管の施設において、駐車場不足から近隣施設とトラブルを抱え、利用者に負担を強いている事例はないか

(3) 平和教育について

- ア 土崎空襲犠牲者追悼平和祈念式典等に教育長みずからが出席しているが、率直な感想はどうであったか
- イ 教職員や子供たちが同式典等に出席する際にかかる経費は幾らか、

また、教育委員会として、式典開催費補助金等を支出しているのか
ウ 平和教育推進のため、さらなる意識の高揚が必要と思うがどうか

4 港湾を取り巻く諸課題について

(1) 日本海側拠点港選定を受けての対応等について

ア 選定を受けたことに対する感想について

イ 今後の本市の役割に対する認識と具体的な施策展開について

(2) 対岸を見据えた交流について

ア 中国吉林省延辺朝鮮族自治州延吉市との関係をどのように考えているのか、また、秋田港を核とした交流の促進を図るべきと思うがどうか

イ 秋田県副知事ミッションがことし8月に延吉市等を訪問しているが、本市に対して誘いはなかったのか

ウ 延吉市とは、元市長、前市長からの親書を携え交流してきた経緯があるが、それに対する認識はどうか、また、穂積市長みずから訪問する考えはないのか

エ シーアンドレール構想に対する本市のかかわり方について

オ アクセス道路の早急な整備・供用開始が必要と考えるがどうか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 議員報酬が高いとの市民の声を市長としてどう受けとめているのか
- (2) 中心市街地の活性化策として、世界的な権威を持つ医療環境整備に取り組む考えはないか

2 総合計画と行政改革について

(1) 行政評価の実施について

ア 事務事業評価により重点的に執行方法を見直すなどの改革を図った内容について

(2) 公共施設の利活用について

ア 施設の見直しや廃止、一元管理について、改革の取り組みにおける進捗状況と今後の見通しはどうか

イ 統廃合後の学校施設の利活用の状況はどうか

3 中通一丁目地区市街地再開発事業について

(1) 商業施設への入居テナントについて

ア テナントの募集状況はどうか

イ オープンまでにテナントが埋まらなかったときはどうするのか

(2) 秋田市にぎわい交流館等の指定管理者について

ア 何社から応募があったのか

イ 指定管理者の運営責任についてはどのようなになっているのか

(3) 新県立美術館の本オープン延期について

ア 本オープンが1年以上延期されたことによる影響について

イ 本市が延期の連絡を受けたのはいつか

4 防災対策について

- (1) 東日本大震災の教訓を踏まえて、現在着手している津波避難ビルや高台等の調査の進捗状況はどうなっているのか

5 学校教育について

- (1) 社会科副読本において、本市の自然、文化、歴史等の内容を一層充実させる考えはないか
- (2) 岩見三内小中学校について、例えば「せせらぎ学園」など、地域の特徴に合わせた校名にする考えはないか

6 地域の活性化について

- (1) 持続可能な地域社会の構築について
 - ア 徳島県上勝町の「葉っぱビジネス」を例に、地域の資源を生かしながら女性や高齢者が生きがいを持ち、地域が持続できる社会の構築を検討すべきではないか
- (2) 農業・農村の活性化について
 - ア グリーンツーリズムとして、秋田の農業、登山、釣り、カヌーなどの体験を盛り込んだバスツアーを企画してはどうか

7 公共交通について

- (1) マイタウン・バスの利用状況はどうか
- (2) バスを全区域一律100円の料金にすべきではないか
- (3) 乗り継ぎしなくても済むよう路線を見直すべきではないか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 放射性物質やその基準値等に関する市民への周知の徹底について
- (2) 大阪府知事と大阪市長選挙に学ぶ二重行政について
- (3) ブータン国王が提唱する「国民総幸福量」に照らした本市の現状認識について
- (4) 市が所有している個人情報のセキュリティーについて

2 秋田市消防団等について

- (1) 消防団員の若返りと処遇改善について
- (2) 機能別団員の現状と問題点及び今後の取り組みについて
- (3) 秋田市消防団協力事業所表示制度の現状と問題点及び今後の取り組みについて
- (4) 消防団の分団地域の見直しについて
- (5) 救急救命士の資格取得の現状と認識について

3 新庁舎建設について

- (1) 発注方式と地元経済への波及効果について
- (2) 喫煙所設置のあり方について
- (3) 住民票など各種証明書の交付手続の電子化に対する取り組みについて

4 東日本大震災を教訓とした自主防災のあり方等について

- (1) 震災発生直後の自主防災活動の総括について
- (2) 大災害発生後のペットの保護に対する考え方について

5 地方選挙について

- (1) 連呼行為時間の短縮について
- (2) 投票率の向上策について

ア インターネットを活用した選挙運動について

イ 投票所のあり方について

6 本市のまちづくりについて

(1) 秋田駅西北地区土地区画整理事業及び秋田駅東第三地区土地区画整理事業の今後の見通しと見直しについて

(2) まちなか居住の推進の取り組み状況と効果について

(3) コンパクトシティ構想の検証について

(4) 横山金足線沿線の商業エリアの拡充について

7 商業の活性化について

(1) 商業活性化のための支援事業の充実・強化について

8 (仮称) 秋田公立美術大学の法人化について

(1) 公立大学法人化のメリット及びデメリットについて

(2) 財産及び人事等に係る市と公立大学法人との関係について

9 子育て支援策について

(1) 幼稚園の預かり保育に対する助成について

(2) 保育所の保育従事者の現状と待遇改善について

10 地域の諸課題について

(1) 桜地区コミュニティセンターの早期整備について

(2) 秋田赤十字病院前の市道の交通渋滞の解消策について

1 市長の政治姿勢について

- (1) 環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）に対する市長の考え方について
- (2) 東日本大震災の教訓と総括及び復旧・復興支援について
- (3) 本市における秋田空港と臨空港地域の位置づけと役割について
- (4) 平成24年度予算編成の考え方について

2 第12次秋田市総合計画県都『あきた』成長プランについて

- (1) 県都・中核市としての役割について
- (2) 国民文化祭における本市の役割と取り組みについて
- (3) プロ野球オールスターゲーム誘致に向けた取り組みについて
- (4) 合併特例債の発行期限延長に対する考え方及び県と連携したコンベンションホールや歴史文化施設整備への取り組みについて
- (5) 環日本海貿易の現状と今後の取り組みについて
- (6) 臨空港地域などの企業誘致も含め、都市と農村の融和したまちづくりに向けた都市計画区域の統合のあり方について

3 第5次秋田市行政改革大綱県都『あきた』改革プランについて

- (1) 部局の再編による成果について
- (2) 連携推進官による取り組みと成果について
- (3) 消防署の改築計画と消防組織体制のあり方について
- (4) 新規財源の開拓に対する取り組みについて

4 農業振興について

- (1) 農業・農村振興、農商工連携及び6次産業化に取り組む組織の設立について
- (2) 国と県の農業政策の動向に対する考え方について
- (3) 新規就農者支援や担い手の育成などの取り組みと来年度の農業施策について

(4) 農地移動及び賃借料と水田価格の動向について

5 地域の諸課題について

(1) 雄和地域における小学校の統合について

(2) 都市計画道路上北手雄和線の一部廃止に伴う道路整備に対する考え方及び市道本田妙法線本田橋の完成見通しについて